

# 属性別(就業場所別・年代別)にみたアンケート結果

資料 2 - 3 ② II

青→いきいき度低・離職検討高 緑→いきいき度高・離職検討低

	20歳代 n=166	30歳代 n=145	40歳代 n=198	50歳代 n=144	60歳代～ n=30	備考
全体	<p>経験年数5年以上 精神的負担が大きい</p> <p>生涯現役希望 40代以下18% 50代以上13%</p> <p>60歳以上 84.2%がいきいき</p> <p>経験年数30年以上 いきいき64.6%</p> <p>いきいき働く人の50%が自分が学ぶ機会が多い</p> <p>希望する働き方はフルタイムとパートタイムが同じ割合 専門領域を活かせる</p> <p>いきいき度 非正規雇用 72.4% (正規雇用 50.5%)</p> <p>働き続けるための必要なこと 経験年数30年以下 同僚との関係がよい 経験年数10～30年 通勤の利便性がよい</p> <p>離職を考え直すために必要なこと 経験年数30年以下 時間外労働が少ない 労働に見合った賃金 経験年数5～20年、30年以上 上司との関係がよい</p>					日本看護協会 R3 離職率 常勤 11.6% 新卒 10.3%
病院 (500床以上) n=132						看護職員就業状況調査 R3 離職率10.7% 新卒 7.8%
病院 (200～500床以上) n=376	<p>20歳代非管理職 いきいき度低い 精神的負担大 身体的負担大</p> <p>40・50代中間管理職 精神的負担大きい 63.3% 時間外労働多い 38.8% 時間外労働30時間以上 42.8% 時間外手当支払不適切 55.1%</p> <p>20歳代非管理職 離職検討56.3%</p>					看護職員就業状況調査 R3 離職率12.5% 新卒 9.5%
病院 (200床満) n=105	<p>20歳代非管理職 いきいき度低い 精神的負担大 身体的負担大</p> <p>離職を考え直すために必要なこと 時間外労働が少ない 42.4% 労働に見合った賃金 39.0%</p> <p>20歳代非管理職 離職検討58.8%</p>					看護職員就業状況調査 R3 離職率14.5% 新卒 12.2%
訪問看護ステーション n=70	<p>いきいき度 訪看ST全体 74.2%</p> <p>いきいきと働けている理由 自分の能力や経験を活かせる 58.3%</p> <p>40歳代非管理職 いきいき度高め</p> <p>40歳代非管理職 離職検討高め</p> <p>離職を考え直すために必要なこと 時間外労働が少ない 42.9%</p>					訪問看護ST実態調査 R3 離職率15.3%

## ■対策の方向性

ライフステージの変化に対応できる 多様な働き方づくり

キャリアアップの道筋の見える化

タテ・ヨコ隔てなく風通しのよい 職場づくり